（七日夕刊）
磐城新聞

休刊　大祭日　第一第三日曜
定價　一部二錢　一ケ月六十錢　郵税十五錢
廣告料　一行六十錢　指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　[illegible]
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社

眞夏日和□□□

大山生

眞日照れる縣街道にしらじらと牡牛が放尿してゐたりけり

鈴を鳴らし水撒き自動車過ぎし街蒸しいきれて來に暑かり

眞夏日の舗街道の赤き道馬糞乾きてしらじらしけれ

眞夏日の眞日あかく照る坂道に毛虫を踏みて愛がりけるかな

夏晝の眞晝のいきれ向つより自動車來るを知れど眞直に歩む

夏晝の眞晝のいきれ驛前の賣子うるさく腹立てゝゆく

夏晝の眞晝の線に拷縄の嫗が姪をかけゐたりけれ

しぐれ雨全く霽れたれ港路に焙るとうきびのにほひ漂ふ

眞夏日の入り日のひかりきらきらと赤きトマトに差し入りにけり

電柱に身すり寄せて身じろがぬ駄馬のほとりに犬交ひたれ

夏晝の夕べうるさく飛ぶ虻を拂はんとする荷駄馬の疲れ

目眠りて立てる牛あり雲動く急雨の氣配を感ずるならん

皆にほふ土藏ではらきりに腹を切らせてゐたりけるかな

自らの腹を切りたるはきりはかなしき命失せしが如し

夏晝の朝けは鬱し振ふ蠅になめくぢ虫は溶けにけらずや

天の川をへたてゝ對座する
彦星　織女星
◇
銀砂の流るゝ天の河へ
烏鵲の翼もてかけ渡したる。
橋上に
今宵ぞ逢ふ星二つ交る
◇
焦るゝ織女星の戀
胸にむすぼれたる五色の糸は
牽牛星の愛の恵みに解けるらん
愛の雫に潤ふて
織女易の瞬く瞳に
銀の涙が光る
◇
織女星よ
名殘惜しけれど
はた逢ふせの樂しみにと
なごめてかへす彦星の
瞬く瞳に
青白き涙が光る

銀の星

佐藤生

夜空に光る銀の星
星の世界は謎の國
無數に散在する星の中に
…影二つ

明日の吉凶

舊暦六月十四日　新暦八月八日

△一白の人　共同事業に手を出すより傳來の仕事が吉し△二黒の人　出す事には無事なれど取入れ事に支障多し△三碧の人　順風に帆を揚げ大海を渡るが如き開豁の日△四緑の人　天の助けありて光明の域に導びかるべき日△五黄の人　出入を正しくし時を計りて助けば過ち少し△六白の人　時を逸せず浩氣を落さずば好境に入るべし△七赤の人　運氣は外に出でゝ强し内仕事は面白からず△八白の人　心を動かされ易し相談事は後日に讓るべし△九紫の人　思ひを安靜にし世の潮流に迷はぬ樣すべし

白馬の雪
芳醇無比
松本徳一吟醸
平電話七五二

この欄への投書をカンゲイします。なんのキテイもありません、諸兄の活躍にまかせします。

講談　赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

（十八）

本徳寺の住持が兩方の眞ン中に突つ立ち、たみつと安太郎の兩人の手に取付く竝で住持は持ち前の説法を始めます、元々双方とも惡意があつて言爭つたのではない、お互の意地の張合から始まつた事だから、住持の懇々と説く長説法には、了解し合ふ機會が生じてくる安左エ門がたみつ離別と云ふことを取消して此處で全く笑ひ合ひが出來た、打ち棄て置くべきでないから安太郎の死骸は戸板に乘せ一同付添つて中山の家へ戻りました、併し勘當と云ふことは既に重役に戻出てある上、に近所界隈のものも知らぬは無い位だから表立つて葬式を出す事は出來ない、ホンの形ばかりコッソリと取り置きを濟ました、其處で安左エ門たみつに向ひ……「扨て嫁女、た前には氣まずい話しだが、是れは孫に相違ない、母は卑しい藝妓渡世をしたものだが彼れが七歳の時に病んで死んだ、其跡は安太郎の手一つで育てゝ來たと云ふ、安太郎が佛になつて見れば此の子は我等の外頼つて行くべき所が無い、これも定まる因縁といふものだらう。何うかこれはお前の子として發育して呉れる譯にはならないだらうか」と染々頼み込みます、おみつは至つて貞實な女で、夫となるべき人が死んだ以上、一代何の頼りもない――「仰せまでもありません、これが亡き夫の忘れがたみなれば、夫とも思つて大切に育てます、腹を痛めずにこうした子を得たことは、私のため夫が一ッの力を與へて呉れたものだと思ひます御心配下さいますな」……「オ、そう云つて呉れゝば我等も此の上の安心はない、コレ安之助よく聽け、このたみつはお前の父安太郎の本當の妻である。されはお前には母に當るのだ……たみつは本妻、た前の母は側女……本妻と側女の區別が判かつたら、母よりも大切に孝行を盡さねばならぬ以來は母と呼んで子たるの道を盡すが好い」……「ハイ／＼よう判りました、母様これから本當の子と思つて可愛がつて下さいませ」――「宜いとも／＼いとしい子ぢや」たみつの方に隔てる心が寸毫もありません安之助も眞實て母が再生したやうに思つて、何事も母様／＼と馴づく、親子の愛情は日一日よふ濃くなつて行きます、世間には隨分鑑しき親子で仲の好いのもあるが、母の腹から本當の子が生れると喧しくなる事が多いのです併したみつには亭主がないのだからその寄託はありません、祖父との三人は少しの風波もなく美しい生活に入つて此處に年月を過ごします、安之助は安左エ門から文武兩道の仕込みを受けたが、おみつの父菅野六郎衛門は、鏡心明知流の使ひ手で殿樣の御指南番であります、なまじ家で教へるよりも六郎衛門方へ安之助を弟子入りをさせる、菅野が竹刀を持たせて見ると頗る筋がよいこれならば仕込み次第に依つては相應な腕前に進むに違ひないと、大きに望みを囑して一層指南に力を入れる、十五歳にして免許代稽古をすると云ふ素晴らしい勢ひ、其處で安之助は元服をさせます、肩揚げのある師範代では門弟達に對しても面白くない祖父の安左エ門も最う年配であるから、安之助が元服すると同時に隱居して家督の相續をさせました。目今のお方は元服と云ふことはどんな事をするのか御存じの無い方が多いが、昔男が前髪を取つて髪を結つて居た時代その前髪を剃落して前を明けるこれを男になつたと申します、生れながらにして男だから別にこの時に男になる譯ではないが、元服は男一人前になつたと云ふ譯、只今の徴兵適齡に達したと云ふのと同じ事であります。

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

ホシ美白粉

最高の白粉

どなたの肌をも自然的に美化し、氣品と艶麗に滿ちた化粧映のするホシ美白粉こそ又、絶對無鉛にて、衛生上よりも、最高の白粉と賞奨さるゝものであります。

ホシ美水白粉　白・黄・肉色
ホシ美粉白粉
ホシ美固練白粉
ホシ美粉白粉

當る八月九日より

ジヤズと舞踊
波浮の港
カフエー行進曲
紅やの娘
草津節

所作事
廓の鞘當
松風村雨
娘道成寺

笑劇　黒髪　二場
社會劇　紅筆　二場
舊喜劇　短慮の刄　三場
（藝題毎日替り）

危險術　瀧泉寺天龍師

安來節の名花浪曲万歳の家元
吾妻家美佐男
吾妻家政之助

喜劇部
都家要之助
曾我廼家小橘
山川三巨
小島錦三郎
曾我廼家女蝶
曾我廼家喜三郎
主任　島津小萬

吾妻家
花子　富士子　君江　政子　千恵子　一二三　千代子　秀子　駒之助　清子

聚樂館

吉田眼科病院
平町紺屋町

夏向の
小供洋服生地と
新柄レース　一寸巾から二尺巾まで
澤山入荷致しました
婦人手藝材料
ハシモトヤ糸店
平町田町

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

タクシーの
御用命は!!!
何卒
昭和タクシーへ
（料金低廉）
平驛前
電三四三（サシミ）
澤正路

披露廣告

東洋趣味の粹として今全日本に壓倒しつゝある麻雀の倶樂部が平町に生れました、支那の本場を偲ばしめる高雅な設備、三日早朝より開店し皆様の御出を御待ちしております、麻雀を知らないのは現代人の大なる恥であるとまで言はれて居る折柄です是非御遊びに御出下さる樣御願ひ致します、初めての方や御婦人方には丁寧に御敎へ致します。

平驛前　賀川醫院裏
平麻雀倶樂部

水利權の寄附金で 鮫川疏水復活
日立礦山にも交渉して 縣が躍氣運動

本縣が明年度新規事業に組工費三十六萬圓を以て鮫川疏水の復活改修を計劃してある事既報の如くであるが縣ではこれが財源捻出策として鮫川筋の發電水利權許可に伴ふ寄附金を以て財源に充當すべく目論んでをる即ち茲に既定の期間内に竣工しなかつたのを理由として失効處分に附した日立礦山出願にかゝる鮫川筋水利權は竣工までに達しなかつたと雖ども相當の設備を施行してゐたもの故再び許可して貰ひたいと出願してあるが縣はこれを許可する條件として相當の金額を寄附せしめんとするものであり會社に對しては專ら金額內務部長が折衝に當つてゐる傍これがため疏水取入口を鮫川筋の支流である飯豊用筋に發見した事は折衝上會社の便宜を圖るに外ならないので茲に同疏水は西久保知事時代に竣工したるも同知事の時は通水しなかつたので西久保知事とは個人的にも關係淺からぬため西久保氏の遺業を萬難を排して復活せしめたい意向を有してゐる九日には鮫川筋上流である東白川郡鮫川村にこれが調査のため出張する事になつてゐるが多年の懸案たる鮫川疏水の復活と同時に日立鑛山出願にかゝる大水利權も許可されるものとみられてゐる

鍋村老婆殺しは 低能少年
物的證據蒐集に 植田署大活躍

石城郡鍋村助川あさ(六二)が殺害し現金及預金通帳を窃取して逃走せる犯人は引續き植田署に於て嚴探中であり醫科教授石川博士が被害者を解剖した結果犯人は殺害の後暴行を加へた事實あり之れによつて從來の捜査方針を一變し專ら附近の者の內偵に手をひろげつゝあるその結果同村居住の助川忠五郎(一七)を有力なる容疑者として三日未明同人の寢込みを襲ひ引致して目下署長自ら嚴重取調べ居り忠五郎はその結果五日朝に至り遂に犯行を自白したがその後に至り前の自白を否認したので更に追窮せし處再び犯罪を是認したるも確たる物的證據なく忠五郎は多少低能にぞくしてゐるので植田署では之を眞犯人と認め居るもたゞ單なる自白のみでは眞犯人と斷じ兼ぬ五日早朝管內巡査の非常召集を行ひ忠五郎が投棄したと稱せる銀行預金通帳その他の物的證據探查に全力を注ぎ目下八方に奔走中である

本縣政界の發達史(一)

福島縣は土佐とゝもに自由民權の發祥地として全國に誇るべき歴史を持つ。

明治八年、河野廣中は同志とゝもに自由民權の說を唱へて國會開設の止むべからざるを論じつゝあつた大勢を察する所あり、土佐の立志社に倣つて縣が石川に石陽社と稱する地方政社を組織した。これ實に東北に於ける政治的結社の嚆矢である。次で同十年には舊藩士苅宿仲衞・愛澤寧堅等が北辰社を組織し、會津には安部穆敬、中島友八、宇田成一等の愛身社成り更らに石城に酒井文雄等興風社を組織する等、縣下各地の有志は續々これに參加し、主義、綱領、規約等を設けて盛んに自由民權を高唱した。而して、これ等各政社の幹部は互ひに連絡提契し縣下各社を聯合して一大運動を起すべき必要を認め、明治十三年二月共愛同論會なるものを福島に組織した。こゝが所謂無名館の初まりである。

○

次で翌十四年自由黨成るや、天下各社の黨員は直ちに之に入黨し、更らに自由黨福島支部の創立を計し、同年十二月福島に創立大會を開催氣勢を揚げた。そして酒井文雄、平島松尾、岡部知莊、苅宿仲衞を黨務委員に擧げ。各郡に出動大いに黨員の募集につとめたので、各地に續々組合或は支部の設立を見るに至り自由黨の勢力は日々に旺盛を加へた。

所が、翌十五年一月、福令三島通庸が山形より轉じ來るに及んで、縣政界の風雲は忽ち險惡となつたと言ふのは彼三島は赴任早々自由黨の撲滅を計し、會津の士族を懷柔し、或は帝政黨を樹立したりして自由黨に對して極端なる壓迫を開始したからである。

三島の自由黨に對する彈壓は日とゝもに熾烈深刻を極め、自由黨の演說會は到る處中止を命ぜられ、黨務員岡野相莊の如きは八月十三日三春町の演說會に於て故なく拘束投獄されたりした、そして遂には十一月から十二月に亘つて河野等初め自由黨員の大部分は悉く拘束監禁され、遂には有名なる福島事件まで惹起するに至つたのである。

今福島事件に就て簡單に記すると、この事件は自由黨福島支部の盟約案に、河野自ら「我黨は自由の公敵たる專制政治を顚覆し公義政體を建立するを以つて任となす」と記したのがその原因でこの顚覆の二字が官權の睨む所となつたのである。

行商に行き とんだ災難
芹澤自動車で負傷

平町鎌田町金子行商先崎勇記(三〇)は六日午前十時頃菓子箱を背負つて四倉方面へ行商に行く途中仁井田橋前で休憩汗をふいて居た處後方より疾走して來た平町南町芹澤自動車(運轉手不明)は不注意にも助手が意外にぶら下り直ぐ側を疾歩した爲勇記の背負つた菓子箱が助手の左片腕に引掛り助手の袖を引掛けて疾走し去つたのこれが爲勇記は頭部脚外三ケ所を負傷した

石城果樹 組合長會

石城郡農會主催郡內平窪、尾內、北中、磐間、內郷、神谷の果樹組合長會は今七日午後一時から平町石城閣體事務所で開催諸打合せ會を行ふ

縣下青年體育大會
磐中に開催 來る十月五日

縣下十萬青年の血を湧かす本縣聯合青年團第七回体育大會はかねてこれが日取場所を詮衡中であつたがいよ〳〵今秋十月五日平町縣立磐城中學校に開催と決定した今季大會からは採點方法も變更され參加資格中從來出場を禁じてゐた小學校教員等も青年團に加入してゐる以上これを認めることになつた尙本年は神宮豫選がないだけ全力を本大會に注ぐことになるので必勝を期する各郡市の接戰を豫想される

石城産馬の 總代會
來十四日開く

石城郡産馬畜産組合では來る十四日午後一時から平郡農會樓上に臨時總代會を開催し左記事項について協議する

一、運用金戾入年度繰延べの件
二、五年度石城郡產馬畜產經費收支更正了算の件
三、五年度石城郡產馬畜產組合種馬資金經費收支更正了算の件
四、組合長安島重三郎氏は五日を以て滿期終了退任に付組合長選擧の件

勿來國調査員

勿來町國勢調査員は左記三十六名と決定同七日町役場において辭令を傳達する

下山田雷助、中野新藏、鈴木定助、赤津仁之助、赤津修一、赤津一、赤津庄兵衛、齋藤粂太郎、赤津榮助、青天目信治郎、

平第一校 臨海學校通信(二)

た家を離れての第一夜! さすがに少し淋しい氣持ちで夜更くるまで眠れず、しく〳〵すゝり泣いてゐた友達もあつたやうだ。少しでも家を離れゝば、變つた氣持になるものだ。

曉の夢を破つて集合の合圖、時正に午前五時、朝霧の街を通つて海岸に出た。まだ去りきらぬ朝霧の海に大乘逐の如き太陽はギラ〳〵とまはりながら。シヅ〳〵と東の海に昇つて行く

怒濤が壓して冴え渡る、上川先生の號令に、元氣に滿ち〳〵た体操が、打ち寄せる渚に立ち、海に面して行はれる、怒濤に負けぬ海國男兒の意氣を見よとばかりの呼吸は遠く太平洋にひゞいて行く。

太平洋の波にあくまで洗ひ清められた大氣を深呼吸する清々しさ。

体操を終つて歸つた僕等の朝飯はおかはりの請求で大賑ひを呈した。

「これで六パイ目だ」

「僕はまだ四ハイだ」……

等々、物凄い會話がとび交ふ。

八時、朝の勉強にかゝる

九時、海水浴。

今日は昨日とは打つて變つた好天氣、思ふぞん分海水に浸たることが出來た。

×

午後の海水浴が終つてから、僕等と先生とから成る平第一臨海學校チームと、濱通りのチーム、四倉チームと野球の試合が行はれる

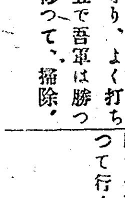
吾等の陣容左の通り

SS	水竹先生
MB	上川先生
CF	長瀨
C	橫田先生
IB	志賀先生
P	井上先生
NB	坂內先生
LF	草刈
RF	坂本

吾軍よく守り、よく打ち終に九A對五で吾軍は勝つた。夕飯を終つて、掃除。勉強。

元氣に滿ちた生活の中に一糸亂れぬ規律が守られて行く。

夜の散步が約一時間許されて冴え渡る月の下に三々五々に打連れて夜の渚を散步。



午後八時、點呼、今日の樂しさを語り合ひながら何時か合宿第二夜の夢にはいつて行く。

田人村議戰
四日終了

石城郡田人組合村會議員選擧第四日終了したが田人、荷夫路の二ヶ村が定員十二に對し一名づつ超過し他の石住、貝泊の二ヶ村は定員だけの立候補であり開票の結果當選者左の如し

田人村　蛭田宇之松、緑川萬次郎、同喜一郎、齋藤保民、小松庄吉、小野庄一、澤田倉之助、蛭田寅造(以上民政)渦盛太郎、緑川毅助、逸見光治(以上政友)

荷夫路村　蛭田常太郎、內山政次郎、齋藤質松、蛭田倉男、小野忠太、兒玉富八、國井亥之助、安島久、舟生常吉、大久保安次、渡邊恒太郎、渡邊梅太郎、橫山太一、橫山富次、鎌田亮秀、荒川又助、杉浦啓藏、太平五次右工衛、蛭田永久、下山田甚次兵衛、鈴木倉之助、五味泰造、浮須豐二、小坂巳之吉、渡邊政吉、渡邊徳次郎、松延常太郎、田子仁郎、鈴木市藏、芳賀新太郎、荒川定義、緑川進、同秀雄、同茂藏、同信義、鈴木善作、芳賀多茂、朝島市親(以上民政)

石住村　小澤松太郎、同勝次郎、齋藤柳太郎、吉田長十郎、平子粂太郎、同堅太郎、鈴木政次郎、西山茂藏、大竹竹吉、佐藤子之吉(以上民政)香取建治、竹內省次郎(以上政友)

貝泊村　芳賀粂治、同明、佐藤善代太、同辰治、角田周吉、蛭田登、同金之助、同峰之助、同善助、芳賀彌四郎(以上民政)蛭田千代之助、同龜之助(以上政友)

雜種財產整理に 海岸砂原拂下
平稅務署で調査

大藏省の雜種財產整理に關し平稅務署においても各海岸砂原を拂ひ下げさせることになり過般各町村當局に周知方を依賴したが最近に至り小名濱商港完成後における同海濱地價暴騰を豫想した一部野心家或ひは磐城蘚子濱を共同的に拂下げて一攫千金を夢みる者等がひそかに拂ひ下げの猛運動を起すべく協議中なので關係町村當局では民間に出ひかれては重大問題だとなし拂下町村に優先權を與へるか乃至は町有財產の特定名目により拂下げさして呉れと平稅務署を經て大藏省に陳情することになつた一方稅務署側で一歩あやまれば往年四倉町に起つた騷擾事件の二の舞を招くことになるので同問題について愼重考慮中である

兩稅委員選擧
平署管內 政民兩派で野心家策動

平稅務署の營業收益、所得稅調査員選擧は十月十六日執行することに決定、有權者七百一名中婦人が三十余名あり現調査員中再起を豫想されるものは赤津、平松、野崎の三氏で他の四氏は再起の意志ないため政民兩クラブでは早くも候補者の物色に着手し野心家の策動も逐日濃厚となつてくるが新顏で目下のところ候補確定したのは民政派の植田町驚縣議唯一人だが定員七名に對し政民兩派とも五名位づつ立候補させる作戰を凝らしつゝあるので選擧期が近づくにつれ相當猛烈な競爭が行はれる模樣である

体育大會
平町陸上 廿一日磐中で

平町陸上競技體育大會は二十一日午前八時から縣立磐中グランドに於て盛大に擧行するとゝなつた目下各町に於ては炎熱下に猛練習を續けてゐる

夏井川の 魚群 姿を消す

平町を貫流する夏井川の魚群が最近姿を消したので太公望連は近頃にない珍しい現象だと不思議がつてゐたが昨今に至り原因は平町が傳染病豫防に撒布した石油乳劑が自然に流れて同川に落合つたゝめと判明し今更ながら落膽して居る

乘降人員
平驛七月中の

平驛七月中の乘降人員は乘車人員五萬七千七百六十五人降車人員五萬六千百十八人乘車運賃二萬二千九百十七圓八十八錢であると

物置の下敷
重傷を負ふ

石城郡湯本町字淺見日雇業齋藤總藏(三二)同町大工菱沼辰雄外數名は五日午前十時頃同町三函松幸平方物置の取壞し齋藤菱沼の兩名はその下敷となり菱沼は奇蹟にも無事だつたが齋藤は腹部及び胸部に瀕死の重傷を負うた

第十二回石城 中堅青年講習會
廿三日より磐中で開催

町村の中堅となり堅實眞面目にして國家の爲め献身的活動を爲し得る青年を養成する目的で第十二回石城郡中堅青年講習會を廿三日より廿六日迄四日間磐城中學校內に開催するが規定講習日課は左の如し

講習員の定員は凡そ百名とし各町村の青年團より一團三名宛町村長、小學校長、青年團長協議の上左の資格に該當するものを選定し八月十九日迄住所氏名年齡を聯合青年團長に申告すべきもので

それは一優良青年にして年齡廿五歲以下の者

二、武道及体操の演習をなし得る者

三、講習員は全部寄宿舍に收容を許す故に宿泊し得る者で講師は

△法律(盜犯防止)講話三笠義孝△歐洲視察談木村清治△港灣講話樗木篤夫△議事法伏見彥衞△經濟講話吉田利吉△軍事講話大森勇△產業組合法講話三森虎雄△思想講話藤田榮助△武道小野寛美△体操及競技佐藤隆丸

かみなり

◆筋肉勞働者ばかり集めて居たので、餘り○在を認められなかつた林家では、モウこれから景氣も上向きと見て、斷然新銳な戰鬪艦を二艘まで購入した、緊船の多い海運界に珍しい事だと梅の湯での噂サ◇二人とも東京の產だが舶來品でないから國產獎勵の趣旨に反しない、お客のいふ事はナンでも落籌と云ふのは若い方で面もふめるし咽もよいとはブローカーの話◆○○の方は繼は○○の法律通り、フル。スピード三十ノットと云ふ能率的だそうな、どつちも郡山邊で東北人操縱の豫行演習を終へてるのだから肱々相摩する好敵手を望んで居る。

平町人事

△死亡　平町揚土十九賢治妻無職上坂リウ(四四)
平町南町五東京府南高長郡鵜々町二町目九根本孝子(三)

內科 外科
整形外科
藥局
產科 婦人科
平新川町十九
木村病院
電話 一一六四
院長 木村寅次郎
女醫 木村コウ
醫學士 松永憲一
東京藥學士 萩原駿二

△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五 中瓶三五 大瓶五〇
大販賣店
平町五丁目角
山野邊藥局

御中元御贈答品には
贈るに御便利 貰つて御重寶な
三井の商品券
三井呉服店

夜間診療
胃腸　花柳
內科 十二指腸虫病 專門
淋病 婦人病 皮膚病 專門
內科部　外科部
松村胃腸科花柳病科醫院
(平町南町電話一〇七番)